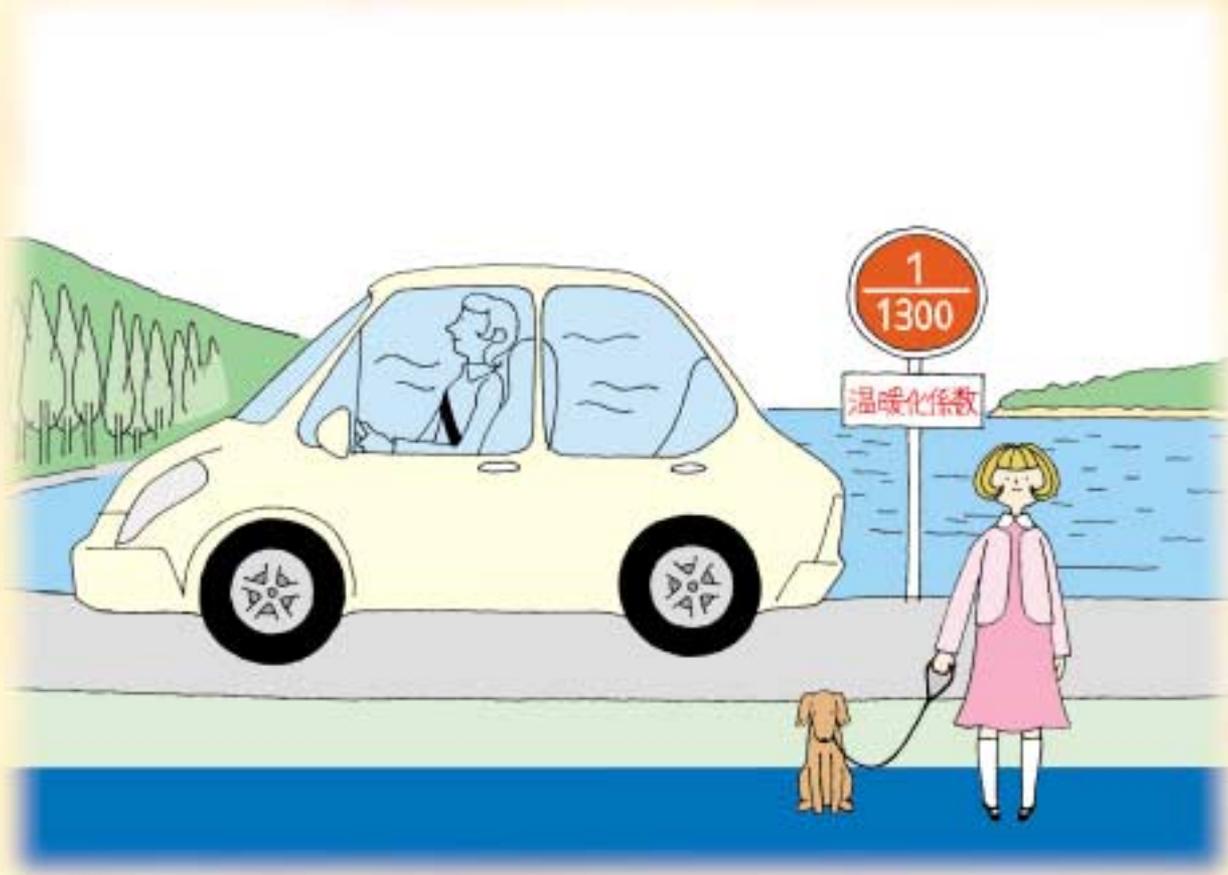


株主の皆様へ

# 第126期 事業報告書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで



# 目次

■ 株主の皆様へ	2	
■ 連結業績の概要	3	
■ トピックス	5	
■ 当社事業のご紹介	7	
■ 連結決算	連結貸借対照表	9
	連結損益計算書	10
	連結キャッシュ・フロー計算書	
■ 単独決算	貸借対照表	11
	損益計算書	12
■ 会社の概況	株式の状況	13
	会社の概要	14
■ 株主メモ		裏表紙
ホームページのご案内		

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第126期事業報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当期の連結業績につきましては、フォークリフト・コンプレッサーの台数増加などにより、売上高・経常利益とも5期連続の増収増益となり、過去最高を更新いたしました。

当期の配当金につきましては、昨年11月に中間配当金として1株につき12円をお支払いさせていただきましたが、期末の配当金につきましても1株につき12円とし、年間としては前期に比べ2円増加の24円とさせていただきます。これにより、平成13年3月期から4期連続の増配となります。なお、昨年の株主総会以降、7,665千株の自己株式の取得を実施いたしました。

今後も厳しい経営環境が続くと思われませんが、株主の皆様のご期待に沿うべく、企業価値の向上のためさらなる努力をまいりますので、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成16年6月



取締役会長 横井 明 取締役社長 石川忠司

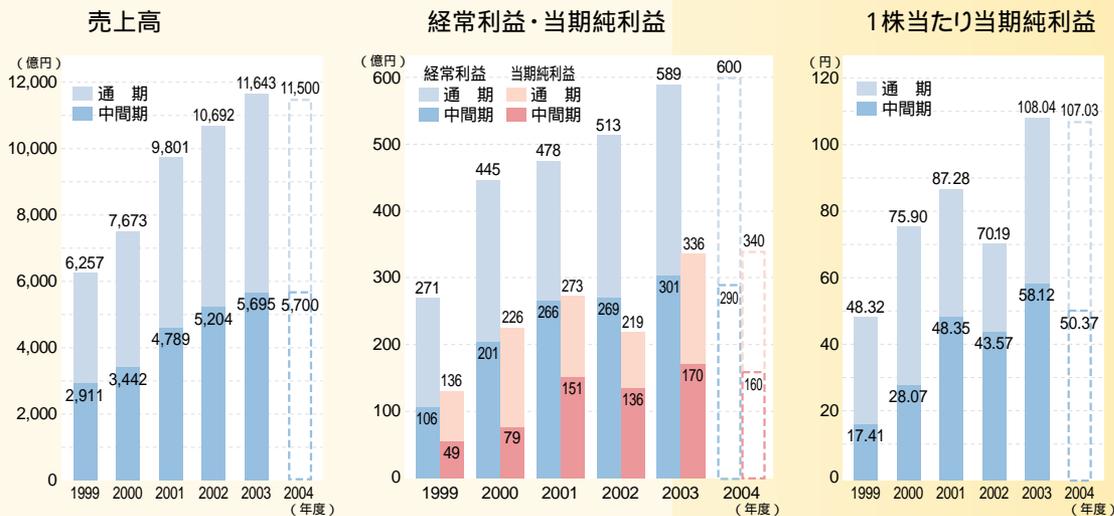
# 連結業績の概要

## 営業の概況

当期におきましては、米国経済の回復や欧州経済の持ち直しなど、海外の景気は明るさを増してまいりました。また日本でも、輸出の拡大などに伴い民間設備投資が増加し、個人消費も停滞感を脱するなど、景気は着実に回復しはじめてまいりました。

このような状況のなかで、当期の連結売上高につきましては、積極的な拡販活動などにより、前期を951億円(9%)上回る1兆1,643億円となりました。利益につきましては、国内外の子会社の収益増、ソニー(株)との合併会社であるエスティ・エルシーディ(株)の寄与もあり、経常利益は前期を76億円(15%)上回る589億円となり、当期純利益は前期を117億円(53%)上回る336億円となりました。

3



(注) 2004年度については予想値です。

## セグメント情報

### [自動車]

自動車部門の売上高は、前期を84億円(1%)上回る6,038億円となりました。このうち車両は、主力のヴィッツが前期並みを維持し、昨年1月より生産を開始した北米向けカローラが寄りましたものの、RAV4の減少により、売上高は前期並みの2,804億円にとどまりました。エンジンにつきましては、エスティマに搭載されるAZ型ガソリンエンジンが増加しましたものの、ランドクルーザーに搭載されるUZ型・FZ型ガソリンエンジンの減少や、CD型ディーゼルエンジンの一部の部品出荷への切り替えなどにより、前期を103億円(9%)下回る1,073億円となりました。カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、当社製品を搭載する車両の好調な推移、搭載車種の拡大などにより、国内・輸出ともに増加し、売上高は前期を204億円(12%)上回る1,983億円となりました。

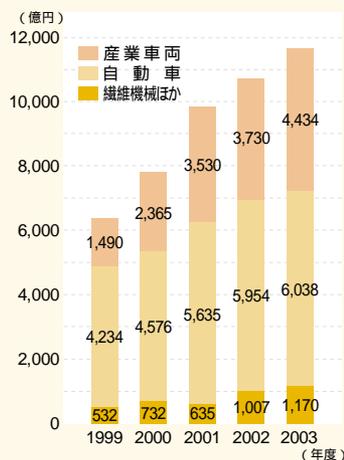
### [産業車両]

産業車両部門は、お客さまのニーズに対応した新商品の開発に取り組むとともに、販売店と一体となった拡販活動を進め、ワールドワイドでトヨタブランド8万2千台、BTブランド5万9千台を販売しました。また、昨年5月に(株)アイチコーポレーションを子会社化しましたことにより、売上高は前期を704億円(19%)上回る4,434億円となりました。なお、世界的に生産・販売体制を強化していくため、中国で昨年6月までに現地生産および新会社による販売活動を開始したことに続き、昨年6月オーストラリアに、本年1月ブラジルに、それぞれ新会社を設立し、各市場での拡販をはかるべく活動を開始しております。

### [繊維機械]

繊維機械部門におきましては、パキスタン向けエアジェット織機、ベトナム向け精紡機が増加しましたものの、中国向けエアジェット織機について大型受注のありました江蘇省・呉江地区への出荷が一段落しましたことにより、売上高は前期を28億円(6%)下回る459億円となりました。

事業の種類別売上高



市場別売上高



# トピックス

## TIEUKがIMHX2004に出展

イギリスの産業車両販売会社「英国トヨタ産業車両(株)(TIEUK)」は、本年3月にバーミンガムで開催された、欧州で2番目の規模を誇る物流・倉庫の展示会「IMHX2004」に出展しました。安全システム「SAS」を搭載したフォークリフトや、欧州で今年発売したローレベルオーダーピッカーやトーイングトラクターなどの展示は、お客様に大変好評でした。



## コンプレッサー生産累計 2億台を達成

本年4月末、日本・米国・欧州で生産するカーエアコン用コンプレッサーの累計生産台数が、2億台に達しました。1960年1月の生産開始から36年後の1996年7月に累計生産台数1億台に到達しましたが、そのわずか8年後の達成でした。なお、昨年8月からは、商品力の一層の向上、環境ニーズの高度化への対応のため、省燃費効果の高いロータリーバルブ仕様コンプレッサーの投入およびハイブリッド車用ES型電動コンプレッサーのプリウス向けの出荷を開始しています。



電動コンプレッサー  
ES18

## ブラジルに産業車両の販売会社を設立

南米の主力市場であるブラジル・アルゼンチンでフォークリフトを中心とする産業車両の販売拡大をはかるため、本年1月に販売統括会社「トヨタ インダストリーズ メルコスール(株)(TIM)」をブラジル・サンパウロ市に設立し、4月から営業を開始しました。TIMは、従来南米市場での販売を担ってきたブラジルトヨタ・アルゼンチントヨタから産業車両部門を譲り受け、拡大する市場に対応していきます。

## CEATEC JAPAN 2003に出展

昨年10月幕張メッセで開催された、アジア最大級の通信・情報・映像の展示会「CEATEC JAPAN 2003」に、白色有機EL光源を応用した液晶ディスプレイ用有機ELバックライトおよび有機ELディスプレイを中心に、無線LANチップセット、超小型ラジオチューナーなどを出展しました。当社の白色有機EL光源は、従来の白色有機EL・白色LEDに比べ色再現性に優れ、輝度と寿命を高いレベルで両立させていることから、多くの来場者の注目を集めました。



## 国内フォークリフトシェア新記録達成42.6%—38年連続No.1

トヨタL&Fの2003年1～12月の国内フォークリフト販売シェアが、過去最高となる42.6%を記録し、1999年以来5年連続で40%超となりました。これは、「GENEO」シリーズに代表される高い安全機能や環境性能を備える商品群はもとより、お客様の物流課題・物流コスト低減のご要望に最適なソリューションを提案する販売活動、迅速で確実なサービス対応などに対して、お客様のご支持をいただけた結果だと考えています。



リーチタイプバッテリー式  
フォークリフト GENEO R

## 構内物流機器の ラインナップを拡充

多様化するお客様の物流合理化・効率化ニーズにおこたえするため、昨年11月、3WAYバッテリー式フォークリフト「ラックストッカー」シリーズに「MD(マンドウン)」、「MU(マンアップ)」の2機種を追加するとともに、建屋内・建屋間の搬送作業に使用する小型けん引車「CBT」シリーズを開発し、国内販売を開始しました。今後も商品開発および販売・サービス両面の強化をはかり、業界No.1の地位を確固たるものにしていきます。



バッテリー式小型けん引車・  
座席タイプ

ラックストッカーMU  
(BT製)

## 技能訓練センターを新設

本年3月、「ものづくり」を支える技能者の育成を強化し、卓越した技能に基づいた国際競争力の向上を目指すため、大府工場西側に「技能訓練センター」を新設し、4月から訓練を開始しました。高い専門能力を持つ指導者のもと、従来から行ってきた新卒の技能専修学園生を対象とする約1年間の技能訓練や、リーダー級技能者の高度な技能育成、一般技能者の基本技能および専門技能の訓練などを行っていきます。



6

## 第10回上海国際紡織工業展覧会に出展

昨年12月、中国・上海市で「第10回上海国際紡織工業展覧会(上海テックス2003)」が開催され、新型エアジェット織機「JAT710」を4台、ウォータージェット織機「LW600」を1台、高速リング精紡機「RX240NEW EST」を1台など、中国での展覧会では最大規模で出展しました。4日間に10万人以上の来場者があり、当社ブースには約2,700名のお客様が来られ、大変賑わいました。



# 当社事業のご紹介

## [ 新規事業 1 ]

### エレクトロニクス

当社のエレクトロニクス事業は、1970年代におけるバッテリー式フォークリフト用電子部品の開発・生産を皮切りに、繊維機械用、各種自動車用および民生用のさまざまなコンポーネントへと領域を拡大してきました。現在、自動車用としては、プリウス用DC-DCコンバータやエスティマ用ACインバータなどのパワーエレクトロニクス部品を中心に、民生用としては、ソニー(株)との合弁会社エスティ・エルシーディ(株)における低温ポリシリコンTFT液晶ディスプレイ、イビデン(株)との合弁会社(株)ティーアイピーシーにおけるIC用プラスチックパッケージ基板などを中心に、それぞれ順調に生産・販売を伸ばしてきています。

また、ラジオ機能の1チップ化の実現による超小型ラジオチューナー、次世代通信規格を見据えた高速無線LAN関連製品、世界トップレベルの白色有機EL光源など、最先端技術の開発・商品化にも取り組んでおり、今後、これらも合わせて、エレクトロニクス事業を当社のコア事業のひとつとして、大きく育てていきたいと考えています。

7

#### 自動車用



プリウス用  
DC-DCコンバータ



エスティマ用  
ACインバータ(1.5kW)

#### 民生用



超小型ラジオ  
チューナー-IC

低温ポリシリコンTFT  
液晶ディスプレイ

無線LAN  
チップセット

IC用プラスチック  
パッケージ基板

FPC型ICカード用基板

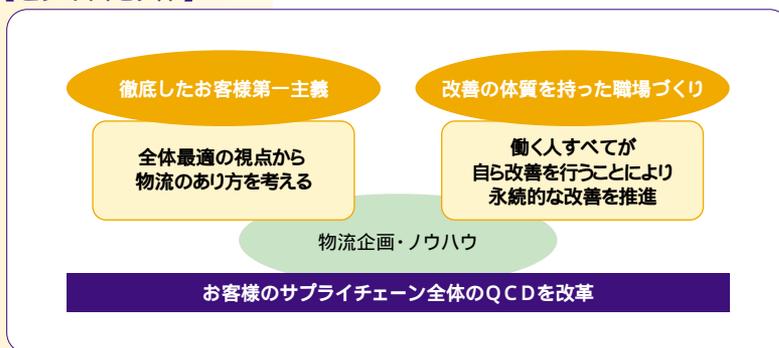
液晶ディスプレイ用  
有機ELバックライト

## [ 新規事業 2 ] 物流ソリューション

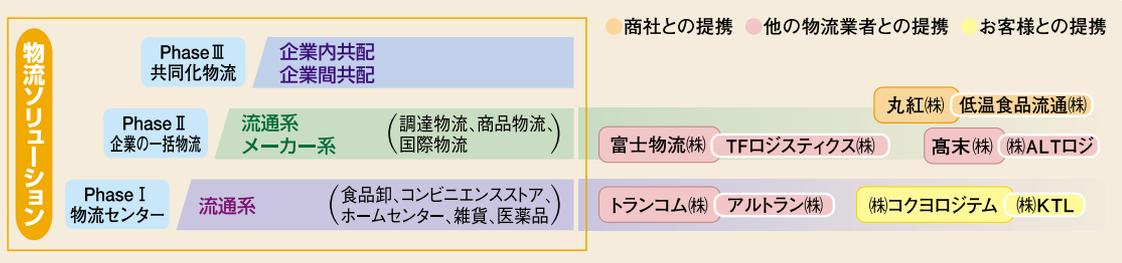
当社は、企業の物流業務を一括して請け負い、物流企画や物流センターの運営などを行う物流ソリューション事業を、将来の経営の柱として強化しています。現在、物流費の削減をねらう企業が製品の配送や保管などを外部委託する動きが広がっており、この市場は将来的には8兆円規模になるとも言われています。

フォークリフトや自動倉庫などの製造・販売、自動車部品物流など、当社は物流に関する長年の事業経験とともに豊富な商品ラインナップを持っています。それらに加えて、生産現場で培ってきた効率的な物流のノウハウを活用し、全体最適の視点から、受発注や配送のしくみ、人員の配置などを全面的に見直す「カイゼン」を行い、お客様のサプライチェーン全体を改革してまいります。

### 【ビジネスモデル】



### 【事業の展開】



# 連結決算

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期	前期	科目	当期	前期
	(平成16年3月31日現在)	(平成15年3月31日現在)		(平成16年3月31日現在)	(平成15年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	349,914	371,807	流動負債	326,337	393,365
現金預金	57,375	87,840	支払手形及び買掛金	129,821	117,424
受取手形及び売掛金	144,575	119,047	短期借入金	70,441	78,052
有価証券	20,064	52,780	コマーシャル・ペーパー	15,000	
たな卸資産	77,574	69,140	1年以内償還の社債及び転換社債		95,692
その他	50,324	42,998	その他	111,073	102,196
			固定負債	633,968	494,164
			社債	200,300	200,300
			長期借入金	35,224	36,576
			繰延税金負債	346,335	212,355
			退職給付引当金	34,264	34,100
			その他	17,843	10,832
固定資産	1,662,080	1,278,583	負債計	960,305	887,530
有形固定資産	389,396	362,193	少数株主持分	34,926	23,993
建物及び構築物	124,422	118,448			
機械装置及び運搬具	160,787	157,733	<b>(資本の部)</b>		
その他	104,186	86,011	資本金	80,462	68,046
無形固定資産	99,856	96,773	資本剰余金	105,743	89,364
投資その他の資産	1,172,828	819,616	利益剰余金	294,672	269,380
投資有価証券	1,112,776	762,026	その他有価証券評価差額金	534,078	331,667
その他	60,051	57,589	為替換算調整勘定	19,782	16,890
			自己株式	17,975	36,483
			資本計	1,016,763	738,867
合計	2,011,995	1,650,391	合計	2,011,995	1,650,391

(注)当期の連結子会社数は140社、持分法適用会社数は20社となっております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	(平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
売 上 高	1,164,378	1,069,218
売 上 原 価	978,458	899,702
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	133,288	117,038
営 業 利 益	52,631	52,477
営 業 外 収 益	30,183	26,335
営 業 外 費 用	23,843	27,438
経 常 利 益	58,970	51,375
特 別 利 益	621	—
特 別 損 失	1,851	7,705
税金等調整前当期純利益	57,740	43,669
法人税、住民税及び事業税	23,967	28,120
法 人 税 等 調 整 額	3,220	7,304
少 数 株 主 利 益	3,370	919
当 期 純 利 益	33,623	21,933

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	(平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー(注1)	92,406	103,183
投資活動によるキャッシュ・フロー(注2)	92,667	95,120
財務活動によるキャッシュ・フロー(注3)	56,015	57,775
現金及び現金同等物に係る換算差額	322	28
現金及び現金同等物の増減額	55,953	65,809
現金及び現金同等物の期首残高	136,929	71,119
連結子会社決算期変更に伴う 現金及び現金同等物の減少額	3,763	
現金及び現金同等物の期末残高	77,212	136,929

(注1)営業活動によるキャッシュ・フローとは営業活動で生じる現金収支を表します。

(注2)投資活動によるキャッシュ・フローとは設備投資や出資といった投資活動で生じる現金収支を表します。

(注3)財務活動によるキャッシュ・フローとは資金の調達・返済、配当金の支払いといった財務活動で生じる現金収支を表します。

# 単独決算

## 貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	(平成16年3月31日現在)	(平成15年3月31日現在)		(平成16年3月31日現在)	(平成15年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流 動 資 産	187,189	240,991	流 動 負 債	170,114	250,849
現金預金	29,330	60,188	支払手形及び買掛金	89,635	88,578
受取手形及び売掛金	77,066	71,477	コマーシャル・ペーパー	15,000	
有 価 証 券	20,002	52,708	1年以内償還の社債及び転換社債		95,692
た な 卸 資 産	25,139	23,057	そ の 他	65,479	66,579
そ の 他	35,651	33,560	固 定 負 債	584,674	451,452
固 定 資 産	1,548,133	1,179,351	社 債	200,000	200,000
有形固定資産	234,059	225,472	長 期 借 入 金	20,000	20,000
建物及び構築物	80,345	78,211	繰 延 税 金 負 債	341,727	207,829
機械装置及び運搬具	94,075	95,567	退 職 給 付 引 当 金	19,427	22,372
そ の 他	59,637	51,692	そ の 他	3,519	1,250
無形固定資産	9,443	7,937	負 債 計	754,789	702,301
投資その他の資産	1,304,630	945,941	<b>(資本の部)</b>		
投資有価証券	1,121,117	776,387	資 本 金	80,462	68,046
子会社株式・出資金	153,309	142,322	資 本 剰 余 金	105,707	89,351
そ の 他	30,203	27,230	利 益 剰 余 金	278,962	265,499
合 計	1,735,323	1,420,342	その他有価証券評価差額金	533,377	331,626
			自 己 株 式	17,975	36,483
			資 本 計	980,533	718,041
			合 計	1,735,323	1,420,342

## 損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	(平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
売 上 高	749,616	747,637
売 上 原 価	663,258	656,063
販売費及び一般管理費	55,024	52,164
営 業 利 益	31,334	39,410
営 業 外 収 益	15,877	14,768
営 業 外 費 用	12,506	11,857
経 常 利 益	34,705	42,321
特 別 利 益	621	—
特 別 損 失	1,851	8,882
税引前当期純利益	33,475	33,438
法人税、住民税及び事業税	15,560	20,015
法人税等調整額	3,188	6,695
当 期 純 利 益	21,103	20,118
前 期 繰 越 利 益	64,043	50,936
中 間 配 当 額	3,904	3,118
当 期 未 処 分 利 益	81,243	67,937

## 利益処分

(単位:百万円)

摘 要	当 期	前 期
当 期 未 処 分 利 益	81,243	67,937
特別償却準備金取崩額	96	65
固定資産圧縮積立金取崩額	8	8
合 計	81,347	68,011

これを下記のとおり処分いたします。

株 主 配 当 金	3,811 (1株につき12円)	3,513 (1株につき12円)
取 締 役 賞 与 金	220	200
監 査 役 賞 与 金	26	23
特 別 償 却 準 備 金	234	227
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金		3
次 期 繰 越 利 益	77,055	64,043

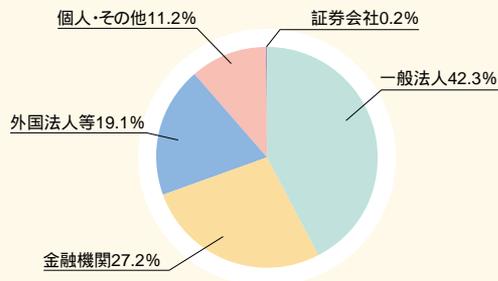
(注)平成15年11月26日に1株につき12円、総額3,904百万円の中間配当を実施いたしました。

# 会社の概況

## 株式の状況 (平成16年3月31日現在)

発行する株式の総数 1,091,245,000株  
 発行済株式総数 325,840,640株  
 株主数 17,322名

### 所有者別株式分布状況



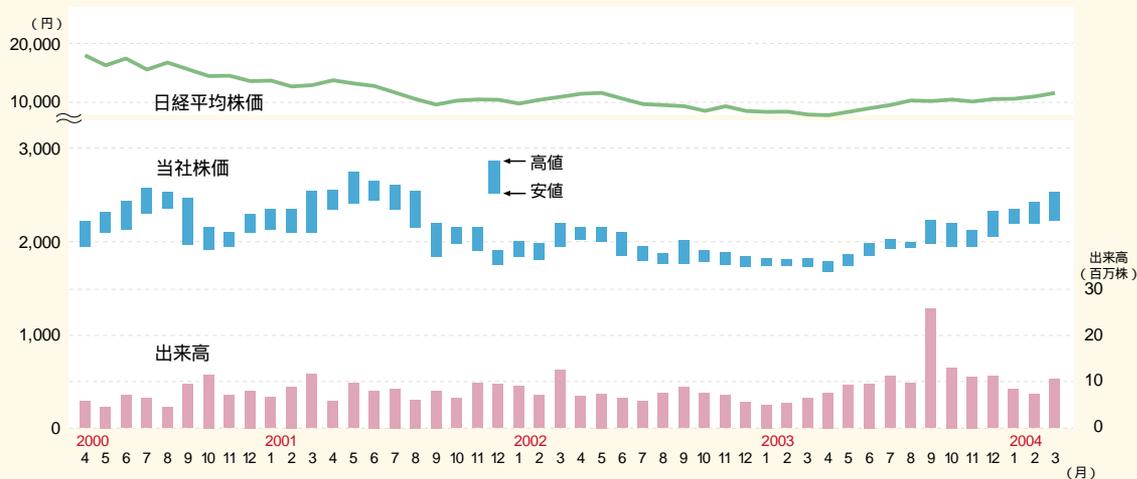
### 大株主

(上位10名)

株主名	株式数 (千株)	議決権 比率 (%)
トヨタ自動車株式会社	76,600	24.14
株式会社デンソー	29,647	9.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	25,198	7.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	10,247	3.23
カストディアルトラストカンパニー	9,241	2.91
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	8,190	2.58
東和不動産株式会社	7,697	2.43
日本生命保険相互会社	6,735	2.12
アイシン精機株式会社	6,578	2.07
豊田通商株式会社	6,289	1.98

(注) 当社は、自己株式(8,174千株)を所有しておりますが、上記の大株主より除いております。

### 株価の推移



## 会社の概要 (平成 16年3月31日現在)

創 立 大正15年11月18日

資 本 金 804億円

従 業 員 10,357名

本 社 所 在 地 〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地  
TEL (0566) 22-2511 (代表)

工場・事務所 (生産品目)  
刈谷工場(繊維機械、カーエアコン用コンプレッサー)  
大府工場(カーエアコン用コンプレッサー部品、ダイカスト品)  
共和工場(電子機器、車両用プレス型)  
長草工場(車両)  
高浜工場(産業車両、物流システム機器)  
碧南工場(車両用・産業車両用エンジン)  
東知多工場( casting 品)  
東浦工場(カーエアコン用コンプレッサー部品)  
東京支社  
大阪事務所

海外生産拠点 (生産品目)  
アメリカ4拠点 (産業車両、  
カーエアコン用コンプレッサーおよび  
マグネットクラッチ)  
フランス(産業車両)、中国(産業車両、 casting 品)  
インド(繊維機械)、ドイツ(カーエアコン用コンプレッサー)  
スウェーデン2拠点(産業車両)、イタリア(産業車両)  
カナダ2拠点(産業車両)

役 員 (平成 16年6月22日現在)

取締役会長 横井 明

取締役社長 石川忠司

取締役副社長 中山尚三 野口紘一郎 豊田鐵郎  
佐藤則夫

専務取締役 遠藤司郎 竹内和彦 小西正純  
上村伸治郎 松浦達郎 片山 巖

常務取締役 吉田成毅 加藤正文 豊田康晴

取締役名誉会長 豊田芳年

取 締 役 豊田達郎 三矢金平 河野博哉  
吉田和憲 竹中健二 山田耕作  
加勢田聡 下 昇治 室殿 豊  
井上亮二 辻 博文 山北幸男  
小川隆希 佐々木一衛

常勤監査役 御友重孝 伊藤正宣

監 査 役 池淵浩介 白水宏典 古川晶章

## 株式に関するお手続きについて

名義変更、住所変更、単元未満株式の買取りなど株式に関する事務はUFJ信託銀行でお取り扱いしておりますので、裏面に記載の連絡先までお問い合わせください。

銀行・郵便局の口座振込払による配当金のお受け取りをご希望の場合は、「配当金振込指定書」に必要事項をご記入・ご捺印のうえ、UFJ信託銀行証券代行部へご提出ください。

株券等保管振替制度ご利用の方は、お取引口座のある証券会社へご照会ください。

各種お手続き用紙は、以下の方法でもご請求いただけます。

フリーダイヤル ☎0120-24-4479

インターネット <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

「株式に関するお手続き」の「お手続き用紙のご請求」をご参照ください。

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
株式名義書換	
名義書換代理人	UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL(03)5683-5111(代表)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社本店および全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞・中日新聞 ただし、決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を下記ホームページに掲載しております。
上場証券取引所	東京、名古屋および大阪の各証券取引所

## ホームページのご案内



<http://www.toyota-shokki.co.jp/>



CO<sub>2</sub>コンプレッサー

## エコの切り札がCO<sub>2</sub>?

地球温暖化による海面上昇で、地図から消えようとしている島があります。カーエアコンの心臓部として働くコンプレッサーも、実は温暖化と無縁ではありません。空気を冷やす素となる「冷媒」と呼ばれる物質は、現在、オゾン層の破壊防止に効果が高い代替フロンが主に使われていますが、温暖化への影響は否定できません。そこで豊田自動織機は、カーエアコン用として世界で初めて、CO<sub>2</sub>を冷媒とする「CO<sub>2</sub>コンプレッサー」を開発し、この製品は燃料電池車に搭載されました。CO<sub>2</sub>は、地球温暖化係数が代替フロンの1300分の1。しかも自然界に元々あるものを使うので、廃棄時に新たなCO<sub>2</sub>が発生せず、温暖化による地球への負荷が極めて少ないといえます。将来的には、一般車における実用化を目指していきます。私たちのコンプレッサーは、世界で一番使われています。だからこそ、環境のことを考えたものづくりを。それが豊田自動織機のささやかな答えです。

世界販売シェアNo.1(41%、2003年度 自社調べ)  
当社のコンプレッサーは、(株)デンソーを通じて販売されています。

表紙および上記の文章は、当社が雑誌に掲載した広告を元にしております。



株式会社 豊田自動織機

愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地 〒448-8671  
TEL(0566)22-2511(代表) FAX(0566)27-5650